

事業所名 グループホーム幸楽の里

作成日：平成 23 年 6 月 21 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	33	自施設、単独での避難訓練が実施出来ていない。 備蓄について、用意はあるが、災害時に必要な物品が揃っているとはいえない。	避難訓練実施。 備蓄の管理。 施設独自の災害時要援護者登録申請書作成。	年2回の取り組み。今年は自施設のみで、6月中・10月に実施。 来年度からは、地域の方の協力を得る為、農繁期を避けた、4月・10月に訓練を実施したいと考えている。1回は、消防署、地域の協力を含めた訓練としたい。備蓄用品については、担当者を2名配置し、賞味期限の確認、不足物品の調達にあたる。 書類の作成は、家族様に必要性を理解得、個人情報取り扱いに留意しながら、必要と思われる、自治体への配布、協力要請を図る。	継続
2					
3	1	現在の理念は木になっており、根本に対する理解が薄い。	幸楽の里にふさわしい理念を誰にでも理解して貰える言葉で表す。	再度、職員皆で、地域密着型サービスの意義を踏まえた、事業所の理念、根本に成っている事とは何かを今一度、職員皆で検討していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。